

あけましておめでとうございます！
一年たつのが年々早く感じます・・・
そして毎年のように暖房が手放せません。
さて、今回はシニア犬についてのお話です。

● チェックしてみてね

老化のサイン

- 散歩や運動に消極的になった
- 歩いたり立ち上がったりのが不自由そうになった
- 睡眠時間が長くなった
- 食べ物の好き嫌いが増え、少食になってきた
- あまり遊ばなくなった
- 今までできていたことができなくなった
- トイレの回数が多くなった
- 毛が薄くなった
- 口臭や歯の汚れが目立つようになった
- 名前を呼ばれたり、物音がしても反応が薄くなってきた

が多いほど老化が進行しているかも...!

犬は7才でシニアといわれているんだ。今までと変わらなくみえても身体機能は衰えていっているよ。「あれっ?」と思ったならばそれは老化のサインかも...

以下シニアになったら気を付けてあげたいことだよー



食事編

・ 食べるときの姿勢

シニア犬は飲み込む力が弱くなっています。食器を台の上に置いて、頭の位置を高めにしてあげると飲み込みやすくなります。また、前肢や首への負担も減らせます。



・ 柔らかく消化の良い食事を与えましょう

ドライフードはぬるま湯でふやかすと食べやすくなり、消化も良くなります。レトルトフードや缶詰を使ってもOK。水分摂取にも良いです。

環境編

・ 快適な室温をキープ

抵抗力が低下してくると、著しい温度差に体がついていけず体調を崩すことも。エアコンなどを利用して室内を快適な状態にキープしましょう

・ できるだけ床はフラットに

敷居や段差を解消して、室内環境をできるだけバリアフリーに。ソファなどには踏み台やスロープを設置するようにします。畳やフローリングなどの滑りやすい床は、カーペットやコルクのように滑りにくいものに替えます。

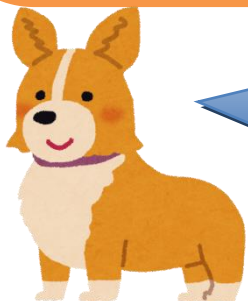
お散歩・運動編

・ ペースに合わせて続けること

お散歩などで外の刺激に触れたり体を動かしたりすることで、血行がよくなり脳も活性化されます。ペースに合わせて、ゆっくりと無理のない範囲で続けていきましょう。

・ 状況を見て柔軟に対応

天候や体調によって、散歩時間や運動内容を調整することが大切です。天候が悪いときは、屋内でボールや綱引きで遊ぶだけでもストレス解消にもなります。



病気の早期発見に繋がる定期的な健康診断が大切だよ！

年に1~2回の健康診断が理想的。